

追浜あんず通信

Oppama Anzu Press

第20号 2020年11月 発行:特定非営利活動法人 アクションおっぱま

略称はスクコミ・子どもたちの社会参加 —湘南鷹取小学校におけるスクールコミュニティ—

鷹取小スクールコミュニティ実行委員会委員長 藤島紀雄

横須賀市の2年度新規事業の一つに、「小学校スクール・コミュニティ」があります。汐入小、馬堀小に続き、鷹取小学校に設置されることになりました。

学校を拠点とした新たなコミュニティづくりを目指すもので、行政・学校・地元の三者が方向を模索しています。

地元の様々な団体は力を合わせて、「子どもたちのために何をしてあげられるか」を考えます。子どもたちは「おとなたちのあんな活動に参加したい」と社会参加の心・学びの心を触発されます。

たとえば——鷹小内の教室で「まつり実行委員会」が行われています。子どもたちがその集まりを覗きます。「おまつりの企画会議なんだ。ぼくたちわたしたちの希望も聞いてもらおう!」。子どもたちのアイデアで、盆踊りに新しい曲が加わるでしょう。

たとえば——「鷹取山自然観察会」が明日、鷹取山へ来る。昆虫の調査だそうだ。くわがたが大好きな僕は、ぜひ参加しよう!



鷹取小学校を中心として、地元の諸団体と子どもたちの新たなコミュニティが誕生します。湘南鷹取まつり実行委員会、鷹取山自然観察会に加えて、わいわい広場しん、NPO法人アクションおっぱま、追浜はっけん倶楽部の方々にもご協力をお願いしました。

今後、さらなる諸団体にお声掛けをして、幅広いコミュニティづくりを目指します。子どもたちが自発的に参加意思をあらわしたくなる活動に何があるか……。

こどもたちに郷土愛の涵養を! とは大袈裟ですが、私たちは子どもたちにふるさとの暖かさをもっと感じてほしいのです。

2020年度通常総会報告

今年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大の中、多くの方にお集まりいただくことができず、書面評決または委任状による最小人数での開催とせざるを得ませんでした。

6月17日(水)会場をこみゅに亭カフェとし、営業終了後の午後4時より開催、正会員35名、したがって定足数は過半数の18名のところ、当日出席4名(理事も最小限にしました)、書面評決者13名、評決委任者11名、計28名ということで、総会は無事成立しました。2019年度事業報告、同活動計算書、同貸借対照表、同財産目録、同監査報告、2020年度事業計画書、同活動予算書ならびに役員案は全て承認されましたので、ご報告

いたします。

なお、新役員は、理事7名(青木 猛、織田俊美、河村啓子、昌子住江、杉山 暢、村澤醇治、吉田洋子)、監事1名(奥村樹郎)となります。どうぞよろしく願いいたします。

収束の見えないコロナ禍にあって活動も制約されていますが、今年度も第三海堡保存・公開等地域資源の活用に関する活動、地域まちづくりに関する相談・支援事業、まちづくりに関する交流・人材育成活動を行ってまいります。

今後とも、みなさまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(NPO法人アクションおっぱま理事長 昌子住江)

●ら・ぶ・いん おっぱま●

ふれあい・いきいきサロン

「おっぱま・よもやま話、はじめて聞くあんな話、こんな話」の講座開催

追浜在住 大長 勝次

追浜地区社会福祉協議会の追浜ボランティアセンター（堀口所長）から毎月開催されている「ふれあいいきいきサロン」で講演の依頼があり、9月30日(水)に開催した。

同サロンは追浜地域にお住いの高齢者の方が自由に集い、おしゃべりとお茶でお互いの親睦をはかることを目的に開催されているサロンで、当初は春に予定されていたが、コロナの発生の影響で延期になっていたものである。

当日は30名ほどの方にお集りいただいた。前回は「追浜ぶらりさんぽ道・歴史と旧蹟」を紹介したが今回は少し切り口を変え「おっぱま・よもやま話、はじめて聞くあんな話、こんな話」と題して今までにあまり知られていない話を中心に紹介した。



昭和3年ごろの銀座通り(追浜ふるさと写真集より)



昭和21年ごろの追浜駅前(追浜ふるさと写真集より)

例をあげると

- 1.夏島沖で網にかかった神輿のご神体
- 2.追浜にもいた明治の「炎鷲」
- 3.雷神社の雨乞いで雨は降ったか
- 4.鷹取山で天狗の酒盛り
- 5.牡蠣のルーツは追浜
- 6.追浜にもいた神風特攻隊員…などなど

今後も郷土に埋もれているお話を発掘し、ご紹介をしていきたいと思えます。

こんな隠れた話もあるよ…という方はボランティアセンターまたは下記にご一報ください。

出前講座も可能です。是非ご利用ください。

追浜地区ボランティアセンター
(行政センター分館) 046-865-2601 堀口
よこすかシティガイド協会
追浜部会 090-2548-0959 大長

●「烏帽子岩之碑」がきれいに！

その昔、現在の追浜の日産工場の道路脇あたりに、旧日本海軍飛行場建設のため埋め立てられる以前、追浜の美しい海に頼朝が名付けたと伝えられる烏帽子の岩がありました。

夏島への航路のランドマークとして浮世絵にも描かれているその史跡が、無残にもジャングルのように木々が茂り、草茫々で放置状態になっていました。以前にも同じことがあり放って置くわけにはいかないと、はっけん倶楽部の有志5人がボランティア精神で道具を持ち寄り、木々を伐採し、草草を刈り見事にきれいになりました。その廃棄物は大きいごみ袋1個、伐採の束10束、この処理の対応にボランティアの人の

心を傷つける悲しい一幕もありました。放置され貴重な追浜の歴史遺産の管理者がだれでどこかわからないままの状態であるという事が悲しい現実です。横須賀市が戦争遺跡を観光資源にと業者丸投げ状態で様々取り込みに頑張っていますが、地域の地元愛こそ重要な観光資源ではないかと思えます。

(NPO法人アクションおっぱま 副理事長河村啓子)



● コロナ時代の災害が起きた時の対応について

新型コロナウイルスが猛威を奮っており、なかなか収束しない状況です。台風などで避難をしている様子などを報道されている様子もご覧になっていると思いますが3密にならないように配慮した避難所運営になっています。

入るときは体温も測り、咳などの体調にも配慮し、ようやく中に入れるという状況です。避難所の中も収容できる人数は制限し、3密にならないようにしています。また寝る場所にも配慮が見られ、ベッドを導入しているところも増えてきています。中でもしコロナ感染が発覚した時は部屋を分けたり動線も健康な人と感染した人を分けたりすることになります。

そのように避難所もコロナ対策を考えられるようになってきていますが私たち一人ひとりも普段から検討

しておくべきことがあります。その一つは在宅避難です。皆様のおうちは耐震は大丈夫でしょうか。耐震補強などは必要ないでしょうか。在宅で頑張れるのならそういうこともぜひ検討しておいてください。もちろん水や食料を6日分備蓄しておくことも前提です。

またご自分のおうちはがけ崩れや川が氾濫したら洪水の心配はない場所でしょうか。津波の被害は受けない場所でしょうか。そのようなことの点検も在宅避難となると重要なチェックポイントになります。もし在宅避難はできない場合は親戚のおうちや知人宅の安全な場所に一時期おいてもらう交渉をぜひしておいてください。身の安全は行政任せでなく自分たちで考えていくことがこのコロナ時代はより大切になってきています。

(NPO法人アクションおっぱま 理事 吉田洋子)



会員の声

地域活性につながる世代間交流への願い

正会員 小柳 茂秀

今から10年程前、幼子を育てる母親が義母を殺害した事件の刑事弁護を担当しました。この事件には、母親を追い詰めた構造的な問題と背後に世代間の溝があると感じました。時間がゆっくりと流れるかつての伝統的な村社会においては、自然に世代間の交流が行われていましたが、現代の地域社会では難しくなっています。一般的に、若い世代は仕事や子育てに追われ、現役を引退された世代はどちらかという趣味の世界を好み、地域と関係を持つことを躊躇する傾向がみられます。

平成24年、子どもが小学校に入学する際、学区内に学童がないことを知り、湘南鷹取連合自治会会長の藤島紀雄さん、福祉村代表の伊東モト子さん、当時市議員の矢島真知子さん、市議員の加藤真道さんらとともに、学童「湘南鷹取こども村」を立ち上げることができました。更に、自治会長等の地域活動のご経験も豊富な水戸靖男さん、社協の活動にも携わってこられた橋本承子さんら多数の協力も加わり、平成28年、「湘南鷹取こども村」の隣にコミュニティセンター「湘鷹みんなの部屋」を開設することができました。

当初11人で始まった湘南鷹取こども村に通う児童数は、現在47人。仕事を抱えた保護者が、運営を担ってくれています。湘鷹みんなの部屋は、現役を引退された方々が中心となり、現在、ボランティアスタッフ54名、賛助員40名ですが、まだまだ人手不足です。より多くの交流が生まれることを願っています。



HPを開設しました⇒<http://湘鷹みんなの部屋.club/>

追浜は二つ目のふるさと

正会員 小室 卓重

追浜に暮らして24年。育ったのは三浦市三崎ですが、高校時代の3年間は、追浜まで三浦半島縦断通学をしていました。青春時代を過ごした懐かしの地での暮らしに満足しています。もっと追浜を知って、何か役に立てればと思ったことから、アクションおっぱまに入会しました。

今を去ること20年前、子育て支援を行うNPOの設立に参加、メンバーとして活動を続けています。この頃すでに、「子育て」は「孤育て」といわれていました。我が子が学校に上がるなどして少し子育てから手が離れたお母さんたちが、「赤ちゃんのママたちに同じ思いをしてほしくない」との気持ちで、お子さんの一時預かり保育を始めました。

おかげさまで、その後、市の事業を複数受託しています。その一つが、追浜駅前の「サンビーチ追浜」ビル4階の「愛らんど追浜」です。ここは、0歳から3歳くらいまでのお子さんと保護者の方が無料で使える「親子の広場」です。私がNPOの代表だった時、この事業の委託の募集があり、追浜で好きな仕事ができるならと応募しました。

そんな子育て支援活動などから見える様々な社会課題を何とかできないものかと、市議会議員になりました。子どもたちが大人になってもずっと住み続けたいと思ったり、事情があってもちを離れても、ふるさとと思ってくれるまちづくりがしたいと思います。



● 追浜駅周辺グランドデザイン 地域懇談会が開催！

令和2年8月23、24日の二日間、横須賀市経営企画部まちづくり政策課主催・追浜行政センター北館3階に延べ102人の追浜在住の方たちが集まり、これからの追浜の町の理想像を話し合う機会がありました。

市担当者の指導で追浜の町の現状から理想の町をイメージし、一定のルールのもと、参加者の地域住民の方たちがいくつかのグループに分かれ①道路関係 ②鷹取川 ③建物、商店街再開発関連 ④公園 ⑤その他についてそれぞれ意見を話し合いました。

多かった意見は、歩道が狭い、駐車場が少ない、自転車が歩道を走り危ない、川が汚い、日用品店が少ない、子育て世代の場所がない、等今後の課題として貴重な意見が出されました。

最期に横須賀市より今回の意見を参考に追浜駅周辺の再開発に生かすという事で閉会しました。

詳細については横須賀市役所ホームページ経営企画部街づくり政策課・地域懇談会成果報告をご覧ください。

(NPO法人アクションおっぱま 副理事長河村啓子)



第16回おっぱまワイン寄席日程決定！

新型コロナウイルス感染拡大のため延期されていた「第16回おっぱまワイン寄席」の日程が決まりました。

日時：2021年2月3日(水)

13:30開演(12:45開場) 15:30 終演予定

会場：追浜コミュニティセンター北館3階

チケットをお持ちの方はそのままご入場いただけます。感染防止対策を講じた上での公演となりますので、ワンドリンクサービスは行いません。何卒

ご了承ください。また、ご入場の際は、マスク着用をお願いします。新たなチケット販売はありませんので、この点もご了承ください。

なお、ご都合の悪い方にはチケットの払い戻しをいたします。メールまたは電話にてご連絡ください。

メールアドレス：info@action-oppama.org

電話046-865-2625 (こみゆに亭カフェ)

(昌子住江)

深浦湾で漁師さんと一緒に
2020わかめの養殖体験を行います！

深浦湾 ワカメの種付け

12月5日(日)10時～12時頃まで(集合9時30分)

予備日12月12日(日)(ワカメの成長が遅かった場合のみ)

参加費 3,000円/グループ(1グループ4人まで)

※2月に行います、刈り取りのワカメの持ち帰り分は参加費に入っています

募集グループ数：30グループ(応募者多数の場合は抽選)

申し込み締め切り：11月29日(日) 17時まで

持ち物：タオル、飲み物など、汚れてもよい恰好で来てね。

追浜あんず通信20号 2020年11月発行

発行 特定非営利活動法人アクションおっぱま

発行人 昌子住江

編集 NPO法人アクションおっぱま編集委員会

編集後記

● 節目の第20号に、子どもに関わる活動をされている方々から寄稿していただくことができました。アクションおっぱまもこうした活動への支援や協力をしたしたいと思います。(昌子住江)

● コロナ禍皆様いかがお過ごしですか。アクションおっぱまもどうにかリアルにも集まるようになってきています。ゆっくりゆったり進めていければと思います。(吉田洋子)

● 今年も終わりに近づきました。元気のなかった追浜の町が、年末商戦でにぎわっています。例年になく、商店街の景品の抽選チャンスが増えているような・・・。予定されていた行事の何かもが中止になっていましたが、12月5、6日はナイトバザールが開催されます。元気の追浜が帰って来るかも。(河村啓子)